

「囃子を愛して」



あきる野市五日市の上町囃子連(河野喜助会長)は22日、「第4回上町こども囃子発表会」を五日市地域交流センターまほろばホールで開催した。栄町囃子連、下町はやし連もゲストとして参加。臼井孝同市長、井上信治代議士、真砂太郎国民新党25選挙区支部長、清水晃市議ら来賓も駆けつけた。写真。

上町囃子連は、当時小曾木村(現・青梅市)から留原や栄

町に伝承された神田囃子を1975年に習得。86(昭和61)年には第6回東京都祭り囃子コンに初出場し敢闘賞、90年と98年には最優秀賞および都知事賞に輝いている。

発表会は文化庁委嘱事業の伝統文化こども教室の一環で行われたものだが、五日市地域の3囃子連の子どもたちが一堂に会して発表会を行うのは、かつてない試みとなった。発表会では上町囃子連の子ども

たちが6グループに分かれて日ごろの練習の成果を披露。下町、栄町囃子連がゲスト出演して華を添えた。

河野会長は「将来の五日市の郷土芸能の発展にとって、大きな意味をもつイベントになった」とし「それぞれの囃子を愛して、ずっと絶えないように伝えていってほしい」と話した。

上町囃子連が発表会